

企業を活かす人材活用
人材が輝く企業の現場

第6回

【聞き手】
株式会社バック・エックス
キャリアカンパニー

スキルを活かすのも共感あつてこそ 想いを伝える姿勢を何より重視します

「ぱちんこ情熱リーグ」で2年連続日本一を獲得するなど、現在注目度の高いホール企業のひとつであるベラジオコーポレーション株式会社。もちろん話題性だけでなく、海外1店舗(グアム店)を含む20店舗を展開するなど、出店にも意欲的な同社の活力源はどこにあるのだろうか。

店舗での取り組み事例をプレゼンテーションする「ぱちんこ情熱リーグ」で2年連続日本一を獲得するなど、特に人材面において業界内でも注目度の高いベラジオコーポレーション。

そのモチベーションの源はどこにあるのか、興味のあるホール関係者の方も多いのではないだろうか。そこで今回は、同社の人材採用および育成について、吉田拓明専務取締役、バック・エックスキャリアカンパニーCEO・松林孝征が聞き取った。

謙虚に挑戦する姿勢が まわりの共感に繋がる

松林 御社は業界内でも、特に「人」の部分で注目度の高い企業というイメージを持っている方が多いと思うのですが、それではその入り口、採用はどのような形で行っているのでしょうか。

吉田「現状では、年間の採用目標数に対して半分をアルバイトからの社員登用、残り半分がバック・エックスさんをはじめとする人材紹介や転職サイトからの採用という比率

になっています。それで目標数をクリアできているので、いまのところ採用費はあまりかかっていませんね」

半数が中途採用の人材というのは意外な感じがします。「実際には店長の約半数は中途採用ですし、営業部長のうち1人も中途採用です。私自身、約7年前に中途採用として



ベラジオコーポレーション株式会社
専務取締役
吉田 拓明(よしだ ひろあき)
昭和51年生まれの37才。平成20年2月ベラジオコーポレーション入社。ベラジオ本店、ハーバー店での勤務を経て、同年6月より本部勤務。戦略室室長、営業本部長、取締役常務(兼営業本部長)を経て現職。好きな格言は「敵を知り己を知らば百戦殆からず」。

近に見ないとイメージできないと思います。他社で研鑽を積まれた方を見て、学んでほしい。そういう面で、中途採用が必要ですよ」

ドに関して、それが高いからこそ前職で高いポジションで仕事をされていたのだと思います。

いただきます。私も経験しましたが、それはマインドの部分でも、経済的な部分でも非常に難しいことです。それに挑戦できること、チャレンジすることという謙虚な姿勢を持っていることですね。

「身内で事業継承しないというオーナーの考え方もあり、トップダウンでなく、自分たち任せられるという部分、だからこそ謙虚な姿勢で勉強を積み重ねてきた結果、いまのベラジオがあります。いま言われているのは、次のスターを作り出せということです。目立てば反発もありませんが、それを恐れているのはダメ。スターが生まれることで組織が活性化し、だからこそその中途採用という部分もあります。あとは常に皆がリーダーシップを取り、他者に依存しない。こういう風土ですから、中途入社の方には相当の覚悟が必要だと思います。挑戦は歓迎しますが、率直に言って、ただ単にいいところを探しているという方には厳しいところだと思います」



新店オープン時には率先して地域の住宅を訪問するという吉田専務。スタッフにはこうした行動を通じて「お客様が自店に来ていただけることがどれだけありがたいことかを実感してほしい」という。

の体制が整備されつつあるなかで今後の中途採用についてはどのようにお考えですか。「中途採用を定期的に行う考えはあります。当社はマインド志向の強い会社ですが、想いがあれば何でもできるかといえば、やはりできないこともあります。店舗を運営していく上で、マインドも大事ですがスキルも大切です。

「前職でのキャリアがあるわけですから、当然スキルには期待しています。一方マインド

「当社では前職のポジションがどうであれ一からはじめて

面接では自分の足りていないところ、足りていないところをしっかりと理解しているかどうかを見ます。どの会社にかかわらず、その会社で学んだことをしっかりと話せるかを重視します」

「当社では前職のポジションがどうであれ一からはじめて

「当社では前職のポジションがどうであれ一からはじめて



株式会社バック・エックス
キャリアカンパニーCEO
松林孝征
まつばやし たかゆき
大学卒業後、大手人材サービス会社を経て、2000年にバック・エックスに入社。パチンコ業界における人材紹介事業の第一人者。これまで数々の転職支援、中途採用コンサルティングに携わる。